



# サポートブックばりばりの書き方

## 1 書けるところから書きましょう

すべてをきちんと埋めようとしなくても良いのです。とにかく書けるところから、書き込んでいきましょう。むずかしく考える必要はありません。ご本人が安心して楽しく過ごせるために必要だと思われることを書くようにしましょう。

## 2 理解や支援につながることを具体的に書きましょう

「～できません」「～は嫌いです」など、否定的なことを書くよりも、支援がない時の状態と「〇〇するとできます」「△△は得意です」など、どのような支援が必要なのか、何に興味関心があるのかなど、関わる際のヒントになることを、できるだけ具体的に書くようにしましょう。そうすることで支援者が何を手伝ったら良いかが分かります。



## やりとり（コミュニケーション）の手段として活用しましょう

支援者に伝えたいことをシンプルに分かりやすく、まとめて書きましょう。

ご本人を手助けして、理解してもらえるように伝えることを心掛けましょう。

支援の内容や方法を検討する際に参考になる事も書いてみましょう。情報や思いを共有できるように、支援者と一緒に書いてみるのもひとつの方法です。あれこれとやりとりをするうちに、違った視点に気がついたり、連携や協力がスムーズになるきっかけになるかもしれません。

